

洪水ハザードマップを知ろう

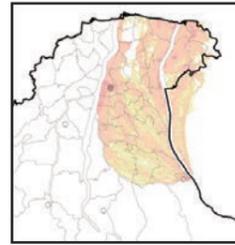
大規模な河川のはん濫の危険がせまったとき、みなさんに安全に避難していただくため、河川のはん濫により浸水が想定される区域（洪水浸水想定区域）に加えて、避難情報や防災情報を表示しています。

洪水浸水想定区域

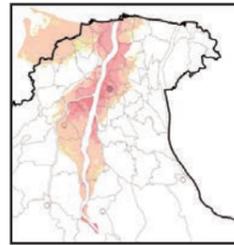
マップでは、河川のはん濫により浸水が想定される場所を深さで色分けして表示された河川ごとの洪水浸水想定区域図を重ね合わせて、最大の浸水深さの区分を表示しています。

雨の降り方によっては、着色が無い場所でも浸水することもありますので、ご注意ください。

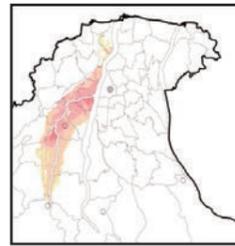
常願寺川の区域



神通川の区域

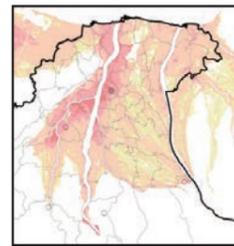


井田川の区域



合計 14 河川の区域

洪水ハザードマップ



地図の種類

洪水浸水想定区域全域を示した【全体図】と避難行動確認のための【地区詳細図】で構成しており、地区詳細図では、**基本想定** と **最大想定** の2つの洪水浸水想定を表示しています。

また、河川ごとの影響を確認されたい方は、富山市ホームページにて【河川別図】をご確認ください。



※地区詳細図は、地区により「縦型」と「横型」があります。

洪水ハザードマップの各項目についての説明

➤ ①はじめに読んでください。

『どこから見れば良いか』の手順を示す、マップの取扱説明書にあたる部分です。

②避難情報等（5段階の警戒レベルと避難行動）

危険度に応じて発表・発令される避難情報等と、そのときにとるべき行動を5段階で表示したものです。

③避難行動確認フロー

避難情報が発令された場合、それぞれの洪水浸水想定に応じて『どのような避難行動をとれば良いか』、あらかじめ確認しておくことで、緊急時の速やかな避難につなげましょう。

④早期の立退き避難が必要な区域等

ここで示す区域等に該当する方は、河川のはん濫が起きたときに命が脅かされる危険性が高いので、避難指示等の避難情報が発令された場合は、**迷わず速やかに屋外へ避難**しましょう。

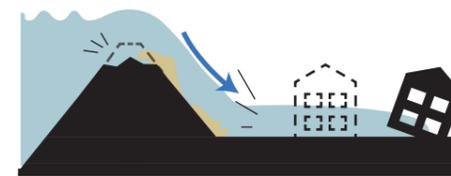
●家屋倒壊等はん濫想定区域（**最大想定**のみ対象として示される「**はん濫流**」と「**河岸侵食**」の2つの区域）

○はん濫流

はん濫した河川からの激しい水の流れにより、木造家屋※が流失・倒壊するおそれがあります。



地図凡例



※倒壊等のおそれが低い頑強な高層の建物に関しては、ただちに立退き避難が必要との判断にならない場合もあります。

○河岸侵食

洪水により、地盤が削られることで、家屋が流失・倒壊するおそれがあります。



地図凡例



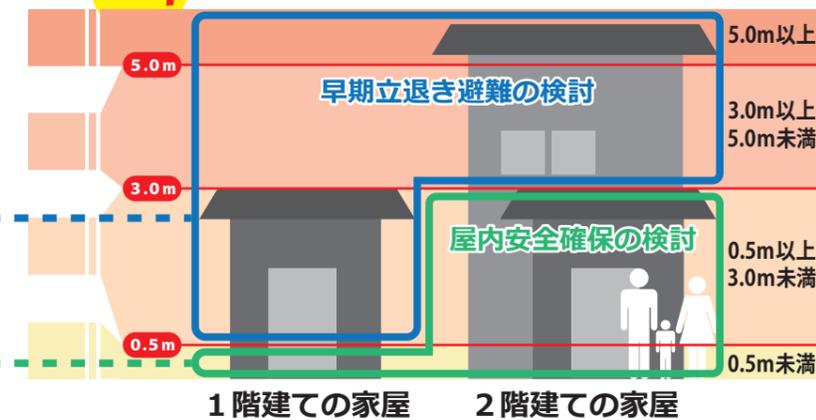
●最上階まで浸水するおそれのある家屋

目安として、浸水深が 0.5m以上で1階建て、3m以上で2階建て、5m以上で3階建ての最上階が浸水するおそれがあります。

速やかに**屋外へ避難**してください。
1階建て：0.5m以上
2階建て：3.0m以上

状況によっては、**屋内での安全確保**も検討しましょう。
1階建て：0.5m未満
2階建て：3.0m未満

ステップ1 下の色合いとマップを重ねて確認ください。



⑤早期長距離避難

足の不自由な方、避難場所までの距離が遠い方、避難場所の収容能力が十分ではないと見込まれる校区の方に対して、早めの避難開始をお願いするものです。

徒歩避難が困難な方々の避難方法のひとつとなる自動車避難をする場合は、その危険性を理解し、早めに避難を始め、浸水が想定されない安全な場所へ避難しましょう。（➡ 8ページ）

⑥、⑦は次ページ

巻末クイズ第1問の答え（3.0m以上）
命が脅かされる危険性が高いため、屋外への避難が必要です。